

ひだしん

ふれあい通信

Fureai Tsushin

特別号

H28.12.20

ブランド
戦略部

TEL : 0577-32-4527

FAX : 0577-34-1233

地域通貨の電子化事業を開始!!

金融業界
初!

ブロックチェーン技術を活用した電子地域通貨
地域創生の取り組みとして岐阜県飛騨地域で商用化
～飛騨信用組合とアイリッジの協業により実現～



共同リリース



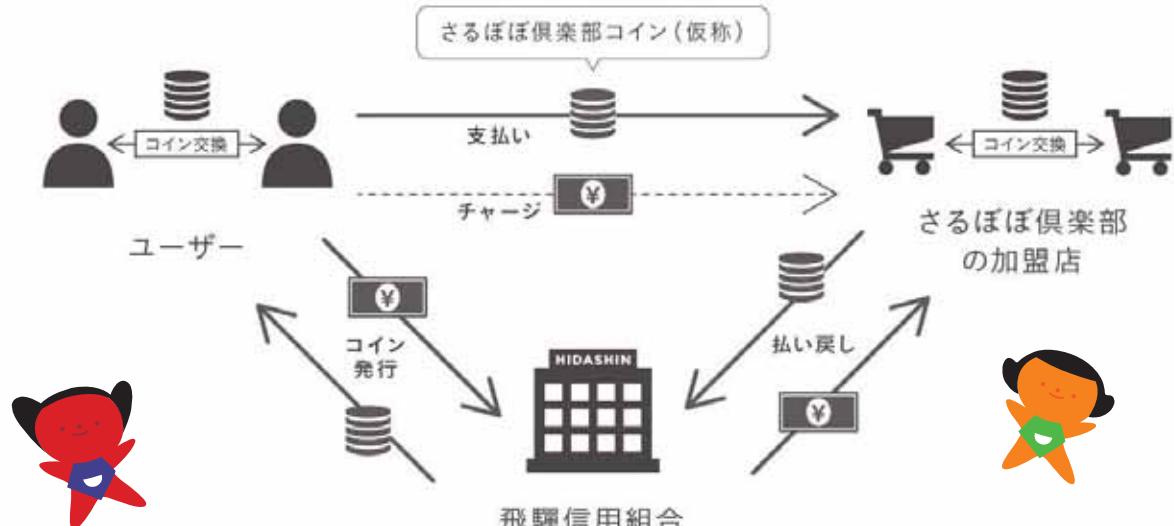
当組合と株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、以下「アイリッジ」）は、フィンテックソリューションによる地方創生の取り組みとして、スマートフォンアプリを活用した電子地域通貨のプラットフォームを導入します。金融機関による地域通貨の電子化は業界初で、地域密着型の金融機関として、利用者のメリットを確保しながら地域経済活性化を目指すことを本旨とします。本プラットフォームはブロックチェーン技術を活用し、セキュリティを確保しながら、システム投資コストの低減を可能とする利便性の高い金融サービスを実現します。

第一弾として来春、当組合の職員を対象とし、「さるばば俱楽部コイン（仮称）」を導入し、商用化に向けた実証実験を行います。本実証実験を通じて、技術、セキュリティ、法制度や運用面における課題を抽出・検証し、来夏の実現を目指します。

■電子地域通貨「さるばば俱楽部コイン（仮称）」とは？

本通貨は地域限定で利用できる地域通貨で、地域住民や訪日外国人向けに提供する電子通貨です。スマートフォン上で利用できるため、地域通貨の印刷・流通コストを減らすことが可能です。

ユーザーは現金でコインをチャージし、加盟店での支払いをキャッシュレスで行うことができます。コインにはプレミアムを付与することで普及を促す他、有効期限を設定することで、コインを眠らせることがなく、一定頻度での利用を促します。店舗側は導入に際し、決済端末等の大規模なシステム投資が要らず、クレジットカードなど他の決済システムと比べ初期費用や決済手数料を低く抑えられるため、手軽に導入することができます。なお、導入については、当組合が提供するさるばば俱楽部*の加盟店（さるばば俱楽部ファミリー店）からスタートしたいと考えています。



<「さるぼぼ俱楽部コイン(仮称)」利用イメージ>

* 「さるぼぼ俱楽部」とは、”地元の皆さまが地元で買い物や食事などをされることにより、地域が元気になっていく”・・・そんな願いを込めた組織です。当組合の組合員とその家族が、お申し出により俱楽部会員となり、加盟店（さるぼぼ俱楽部ファミリー店）でお得なサービスや特典を受けられる会員制の優待サービスです。このサービスを利用することにより飛騨地域でのお金の流動化を促進します。

■導入の背景

人口減少や過疎化をはじめとして、社会・経済構造は未だかつてないスピードで変化しており、地方においては特にそのような影響が深刻化している状況です。このような状況下、政府は2016年10月、産業界・地域と連携した消費需要喚起対策を全国的に展開する必要があるとして、2億円の第2次補正予算を編成するなど、地方創生に向けた取り組みを加速しています。問題の解決には地域資源を活用し、各自治体固有の問題に合致した地域経済再生を推進することが求められています。

そのような背景のもと、地域密着型の金融機関に求められる役割は大きく、取引先企業の成長を後押ししながら地域経済を活性化させ、金融機関自身の収益力強化にもつなげていくことが求められています。

前述の社会課題に対する解決策を講じ、社会から求められる役割を果たすため、今回、フィンテックソリューションやO2O(Online to offline)領域におけるアプリ開発で業界一の実績を誇るアイリッジと、岐阜県飛騨地域において長らく地域金融・経済の要として機能してきた当組合が協業し、本プラットフォームを企画・開発していきます。

■今後の展開

アイリッジと当組合は、地域に密着した金融機関との協業による、地域創生のためのフィンテックソリューションを深化させ、決済や売上データの見える化により、ビッグデータマーケティングを推進します。加えて、それらデータの活用をさらに深化させ、地域経済活性化を目的としたトランザクションレンディング（売買や資金決済、顧客評価などの取引履歴を利用して審査をする融資）など、次世代フィンテックサービスを展開していきます。各自治体の特性や課題に即したソリューションを提案・提供することで、地域経済活性化に貢献してまいります。

■お問い合わせ先

◆飛騨信用組合 経営企画部 TEL:0577-32-8988 (担当:田中、長尾)

